

熊本県立大学 文学部 英語英米文学科（2年次編入）

令和6年度 転入学・編入学 学生募集要項

〔参考〕アドミッション・ポリシーをP.9に掲載しています。

1 募集人員

若干名

2 出願資格

(1) 転入学

現に他大学（短期大学を除く。）に在学中の者で、令和6年3月に当該大学を退学する予定の者。ただし、2年次修了者（※1）に限るものとする。

〔※1〕2年次修了者とは、令和6年3月末において大学に2年以上在学して、相当単位を修得した者をいう。

(2) 編入学

次のいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
- ③ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑤ 外国において、学校教育法における14年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑦ 大学を退学した者（令和6年3月までに退学予定の者も含む。）で、かつ、2年次修了者（※2）に該当する者
- ⑧ 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和6年度3月までに修了見込みの者。

〔※2〕2年次修了者とは、大学に2年以上在学して、相当単位を修得した者をいう。

3 入学年次

上記「2 出願資格」各号における入学年次は、いずれも2年次です。

4 出願期間

令和5年11月6日（月）から 11月10日（金）17時まで（厳守）

5 出願方法

本学入試ホームページ（<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/>）にアクセスし、次の

6に記載の出願に必要な書類等を準備の上、一括して本学に提出（郵送又は持参）し出願してください。（※転入学・編入学試験は、本学が設ける他の入学試験と異なり、インターネット出願ではありませんので、ご注意ください。）

令和5年11月10日（金）17時までに本学教務入試課入試班に到達していない出願書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、出願書類に不備がある場合も受理しません。

- (1) 出願書類を郵送する場合は、『簡易書留・速達』郵便で発送し、令和5年11月10日（金）17時までに必着するようにしてください。

（書類提出先）

〒862 - 8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学教務入試課入試班

TEL 096 - 321 - 6610

郵便事情により出願期間終了後に配達されたものは、次の（ア）から（ウ）までの条件の全てを満たす場合に限り受理します。

【出願期限後に配達された出願書類を受理する条件】

- （ア） 『簡易書留・速達』郵便で発送されていること。
- （イ） 令和5年11月8日（水）までの消印があること。
- （ウ） 出願書類に不備がないこと。

- (2) 持参する場合の受付時間は、9時から17時まで（12時20分から13時20分までの間を除く。）とします。（出願期間に土曜日、日曜日祝日が含まれる場合、それらの日は受付を行いません。）

6 出願に必要な書類等

転入学・編入学願書	所定の用紙 ※本学入試ホームページから所定の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。 【本学入試ホームページ】 https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/
履歴書	
志願の理由書	
学業成績証明書	出身学校等が発行したもの（厳封） ※ 「成績表」等での代用不可。発行日、学校長、学校印が明記された原本に限ります。 ※ 日本語以外で発行される書類には、必ず、和訳文を添付してください。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	出身学校等が発行したもの（厳封） （「2 出願資格」(2)－①及び③～⑥、⑧により出願する者のみ提出してください。） ※ 「卒業証書」等での代用不可。発行日、学校長、学校印が明記された原本に限ります。 ※ 日本語以外で発行される書類には、必ず、和訳文を添付してください。

転入学に係る許可書	現に在学する出身学校等が発行したもの（厳封） （「2 出願資格」(1)により出願する者のみ提出してください。） ※ 発行日、学校長、学校印が明記された原本に限ります。 ※ 日本語以外で発行される書類には、必ず、和訳文を添付してください。
学位授与証明書又は専攻科修了見込証明書及び学位授与申請証明書	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの （「2 出願資格」(2)－②により出願する者のみ提出してください。）
退学証明書	在籍していた学校等が発行したもの （「2 出願資格」(2)－⑦により出願する者のうち、退学した者のみ提出してください。）
在学証明書	在籍する学校等が発行したもの（在学学年が明記されたもの） （「2 出願資格」(2)－⑦により出願する者のうち、退学予定の者のみ提出してください。）
写真（1枚）	縦3.5 cm×横3 cm、正面上半身、無帽、出願日を起点として3ヶ月以内に撮影したもの。裏面に氏名を記入してください。
入学検定料（入学者選抜手数料）	17,000円 （郵送の場合は郵便為替とし、指定受取人及び委任欄は記入しないこと。）
受験票返信用封筒	定型封筒（長型3号）に434円分の切手（簡易書留料金含む）を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

（注）① 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入もれ」、「誤記」等には十分に注意してください。

② いったん受理した出願書類は、理由のいかんを問わずいっさい返却しません。

③ 既納の入学検定料は、次の(ア)から(ウ)までに掲げる場合を除き、理由のいかんを問わずいっさい返還しません。

(ア) 出願書類等を提出しなかった場合

(イ) 出願が受理されなかった場合

(ウ) 二重に支払った場合

※ (ア)から(ウ)までのいずれかに該当し、返還を希望する者は、本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に連絡の上、指示のあった書類を提出してください。

なお、返還額は、本学からの振込手数料を差し引いた額とします。

④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

⑤ 身体上の機能の障がい等により受験及び修学に際して配慮を希望する者は、事前に本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に相談の上、指示のあった書類を令和5年11月6日（月）までに提出してください。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

英語、面接及び書類審査（単位認定審査を含む。）の結果を総合して行います。

(2) 期日

令和5年12月3日（日）

※ 集合時間・集合場所については、受験票発送の際に指示します。

(3) 試験場

熊本県立大学（住所：熊本市東区月出三丁目1番100号）

※ 試験室については、当日学内に掲示します。

(4) 科目・配点

① 英語 [100分/150点]

② 面接（英語による口頭試問を含む。） [15分/50点]

(5) 科目別内容

① 英語

長文を正確に読解し、論理的に英語と日本語で意見を表現する。

② 面接

英語による口頭試問を含め、面接を行います。

(6) 採点・評価基準

① 英語

英語の運用能力、論理的思考力、表現力、記述力をみます。

② 面接

英語の運用能力、意欲、表現力、理解力をみます。

8 受験上の注意等

- (1) 受験者は、本入試で志願する学部・学科が設けている試験科目等（面接を含む。）を全て受験しなければなりません。それら試験科目等を1つでも受験しなかった受験者は、失格扱い・合否判定の対象外となります。
- (2) 集合時間までに指定の席につき、受験票を机の右上に置いて監督者に見えるようにしておいてください。
- (3) 受験票は必ず携帯してください。また、所持品は携帯し、監督者の指示する場所に置いてください。
- (4) 試験当日、受験票を忘れた場合は、速やかに試験実施本部へ申し出てください。
- (5) 学力試験の試験中、机の上に置くことができるものは、受験票、黒鉛筆（H, F, HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（黒い芯に限る。）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）、時計（辞書、電卓、検索等の機能があるものや、それらの機能の有無の判別がしづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの）とします。
- (6) 携帯電話・スマートフォンは、試験室に入る前に電源を切ってから、かばんに入れておいてください。また、これらを時計として使用することはできません。

- (7) アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除してください。
- (8) 学力試験の試験開始後 20 分を経過すると入室を認めません。
- (9) 試験時間中は、原則として退室を認めません。
- (10) 次の行為を行った者は、不正行為を行ったものとみなし、失格とします。失格となった場合、本入試のそれ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。
- ① 出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。(出願時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。)
 - ② カンニングをすること。(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の受験者その他の本人以外の者から答えを教わることなど。)
 - ③ 他の受験者その他の本人以外の者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
 - ④ 試験問題や、試験問題の解き方、解答を、その試験時間が終了する前に外部に流出させること。
 - ⑤ 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑦ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
 - ⑧ 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類(これらに接続するイヤホンを含む。)を使用すること。
 - ⑩ 解答終了の指示に従わず、解答を続けること。また、解答終了の指示後に許可なく鉛筆や消しゴムを持っていたりすること。
- (11) 次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合は、失格とします。失格となった場合、本入試のそれ以後の受験はできなくなります。
- ① 試験時間中に、次のものをかばん等にしまわず、机の上に置いたり、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ・教科書、参考書、辞書等の書籍類
 - ・定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類(これらに接続するイヤホンを含む。)
 - ・その他、使用を許可されていないもの
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (12) 状況によっては、本要項の内容が改訂される場合がありますので、予め、本学ホームページで最新の内容を確認してください。

- (13) 上履きは不要です。
- (14) 引率者（保護者）は、控室として講義棟1号館1階の学生ロビーを利用できます。
- (15) 自家用車による送迎で来学する場合は、大学構内一方通行を遵守し案内表示にしたがって走行してください。車両の混雑を避けるため、送迎後は速やかに大学構内から退出いただくようお願いします。

なお、学内に駐車される場合は南駐車場をご利用いただけますが、南駐車場が満車の場合は駐車できません。

9 合格発表

- (1) 日時

令和5年12月11日（月）13時30分

- (2) 方法

本学本部棟前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
なお、電話、メール等による問い合わせには応じません。

また、合格者の受験番号については、本学本部棟前に掲示した後、参考までに本学のホームページ（<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>）に掲載します。

10 入学手続

- (1) 手続期間

令和5年12月11日（月）から12月20日（水）17時まで（厳守）

- (2) 提出書類

不備のないよう確認の上、次の書類を提出してください。

- ① 宣誓書

本学所定の用紙（「合格通知書」に同封します。）

- ② 保証書

本学所定の用紙（「合格通知書」に同封します。）

- ③ 住民票

県内生については、入学者が生計を一にする世帯の主たる生計維持者及びその世帯全員の住民票が必要です（県外生は不要）。

（注）県内生とは、入学者が生計を一にする世帯の主たる維持者が令和5年12月20日の6ヶ月前（令和5年6月20日）から引き続き熊本県内に住所を有する場合をいいます。

- (3) 書類の提出方法

郵送又は持参によること

- ① 郵送・持参を問わず、手続期間の最終日17時までに到達していない入学手続書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、不備がある場合も受理しません。

- ② 郵送する場合は、『簡易書留・速達』郵便で発送し、手続期間中に必着するようにしてください。

- ③ 持参する場合の受付時間は、9時から17時まで（12時20分から13時20分までの間を除く。）とし、土曜日、日曜日、祝日は受付を行いません。

- (4) 書類提出先

〒862 - 8502 熊本市東区月出三丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課入試班
TEL 096 - 321 - 6610

(5) 入学金（令和5年度（2023年度）現行）

次に掲げる金額を、合格通知書とともにお知らせする入学手続の詳細に従って支払ってください。なお、いったん支払われた入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、理由のいかんを問わず返還しません。

区分	区分の詳細	入学金
県 内 生	上記(2)③（注）を参照してください。	207,000円
県 外 生	県内生以外の者	414,000円

1.1 授業料（令和6年度予定）

年額：535,800円（267,900円×2期）

（注1）在学中に授業料額及び納付期日等の改定が行われた場合には、改定時から適用されます。

（注2）授業料減免制度については、本学ホームページをご覧ください。

（注3）経済的理由等により、期限までに納付することが困難な場合には、徴収猶予許可又は月額による納付の許可を受ける事ができます。詳しくは、入学後に事務局総務課にご相談ください。

1.2 成績の情報提供（開示）について

(1) 提供する情報

得 点 各試験科目等の総得点

順 位 不合格者のみの情報提供で、不合格者が10名以上の場合に限りランク表示をします。

ランクは、不合格者を成績順に3ランク（上位1/3がA、中位1/3がB、下位1/3がC）に区分しています。

(2) 情報提供期間及び時間

令和5年12月14日（木）～令和6年1月15日（月）

（注）受付時間は、9時から17時まで（12時20分から13時20分までの間を除く。）とし、土曜日、日曜日、祝日は受付を行いません。

(3) 提供依頼方法及び場所

入学試験を受験した本人が、本学の教務入試課窓口にて口頭で情報提供を希望する旨を申し出てください（代理人への情報提供はできません。）。その際、本人確認のため、本学受験票を持参してください。

なお、受験票を紛失した場合は、教務入試課入試班(TEL 096-321-6610)まで問い合わせください。

1.3 個人情報の取扱いについて

出願書類や入学手続に関して、本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個

人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正な管理を行っています。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

14 問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1-100

熊本県立大学 教務入試課 入試班

TEL 096-321-6610

対応時間：平日9時から17時まで（12時20分から13時20分までの間を除く。）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

全学

1 熊本県立大学が求める学生

熊本県立大学は、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに、豊かな教養を備え、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる、有為で創造性豊かな人材の育成に全力を注いでいます。

熊本県立大学は、文、環境共生、総管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結びつけた「もやいす」と育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。

2 入学者選抜の実施方法

熊本県立大学は、1に掲げる本学が求める学生を適正に選抜するため、学部・学科の特性に応じて、各種の選抜方法を実施します。

文学部

1 文学部が求める学生

わたしたち人間が作り上げてきた様々な文化を探究し、これから作り上げるべき文化のあり方を考えていく、それが文学部の使命です。古今東西の様々な文献を読むことで、それぞれの時代の人々の考え方を理解し、ことばによるコミュニケーションを通して人や社会との着実な関係を作り上げることに取り組んでいきます。

日本語とはどのような言語なのだろうか、日本語を歴史的にあるいは客観的に学ぶとはどういうことなのだろうか、英語を正しく理解し表現する力を身に付けるにはどうすればよいのだろうか、日本の文学や英語圏の文学を深く理解したい、そして、より広い世界の文学、言語、歴史、思想を学んでみたい、このような問題意識や希望を持つ人に文学部は応えていきます。ことばと人間に関心を持ち、意欲をもって探究のできる人、そんな人を文学部は求めています。

2 入学者選抜の方法

入学者の選抜に際しては、一般選抜及び特別選抜を通じて、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、1に掲げた本学部での学修において求められる資質や能力について、総合的に測るものとします。

【日本語日本文学科】

(略)

【英語英米文学科】

1 英語英米文学科が求める学生

英語英米文学科は、英語を通して人間と文化を研究する学科です。読む・聞く・話す・書くという英語の基本的技能に習熟し、高度な英語コミュニケーション能力を身につけることを目標にしています。そのために入学時より少人数での現代英語運用科目を充実させています。上級学年では、英語学、英文学、米文学、英語教育、日本語教育、人文学の分野に分かれ、学生一人ひとりの研究テーマを少人数の研究室でさらに深く探究します。英文学、米文学においては、作品や作家、文学理論にとどまらず、背景となる文化、歴史、社会思想についても考察します。英語学では、英語の構造や意味を論理的かつ体系的に分析します。英語教育では、英語を教えるための方法論などを学ぶことができます。日本語教育においては外国人に日本語を教えるための日本語教授法を学べ、人文学では、英語圏をはじめ東西の言語文化の研究を通して人間文化を学ぶことができます。

このような観点から、本学科は次のような意欲のある人を求めます。

- (1) 世界に広く目を向け、国際的に交流し活動していきたい人
- (2) 言語、文学、文化に関心を持ち、英語学・英米文学・英語圏文化について理解を深め、研究したいと考えている人
- (3) 英語教員を志望する人

入学を希望する人は、基礎的な英語の学力だけではなく広く全般的な知識を身につけ、世界の歴史や地理に関して十分な学力を有していることが望まれます。

2 入学者選抜の方法

入学者の選抜に際しては、一般選抜及び特別選抜を通じて、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、1に掲げた本学科への適性について、総合的に測るものとします。